

第2回 白糸小学校のこどもたちの未来を考える協議会 議事録

○日時 令和8年5月28日(木) 午後7時から8時34分まで

○会場 白糸会館

○出席

【委員】

遠藤 寛	会 長	田村 勇太	副会長	安藤 沙弥	委 員
石川 裕美	委 員	小長谷 拓司	委 員	伊藤 竜太	委 員
小池 あかね	委 員	馬飼野 公洋	委 員	古屋 博正	委 員
大槻 吉一	委 員	佐藤 清隆	委 員	渡邊 寛	委 員
齋木 隆久	委 員	遠藤 佳之	委 員	渡辺 佳正	委 員
渡邊 里乃	委 員				

【事務局】

遠藤 伸昭	教育総務課長	齋藤 治	学校教育課長
小林 美幸	学校教育課参事	植松 弘美	教育総務課主幹兼総務係長
安藤 昌輝	教育総務課総務係	佐野 航佑	教育総務課総務係
中村 日出和	教育総務課総務係		

○次第

- 1 開会
- 2 議事
 - (1) 再編の方法
 - (2) スケジュール
- 3 次回の予定
- 4 閉会

○会議内容

1 開会

2 議事

第1回の協議会において西富士中学校に小学校を移し小中一貫校にしてはどうかという案に対する改修にかかる建設費用や期間等の説明と、既存校舎を利用した統合を教育委員会案として提案した。

(会長)

事務局からの提案も含めて説明がありましたが、これについて委員の皆様はどうでしょうか。御質問等あればお願いいたします。

(委員)

西富士中学校の施設を利用した統合というのを前回もお話をさせていただいたんですけど、実際中学校は特別教室等を作らなければいけないということで、この金額が算出されていると思いますが、実際教室がどれぐらいあって、どれぐらい足りないといった所の資料はありますか。またはその数字を教えてくださいのですが。

(事務局)

資料等はないのですが、実際先生方と見させていただいた際に、普通教室棟は足りているのではないかといいことなのですが、教室は、元々、西富士中学校は3学年3クラスありましたが、今は1学年1クラスなので、6クラス余っているとという計算にはなるのですけれど、6クラス小学生が入ることはできるのですが、例えば音楽室ですとか理科室ですとか美術室は、9学年の授業のカリキュラムを考えると二つずつ教室がないと回せないという先生方のお話もあり、三つぐらいあふれてしまうので、特別教室は作らないと授業が回せないということで、最低三つは特別教室棟を外に出さなければいけなくなるということで今回試算をさせていただきました。以上です。

(委員)

既存の小学校に統合の案の所で、新しい学校名とすると準備期間が1年余分に掛かるのはなぜか、お聞きしたいのですが、お願いできますか。

(教育総務課長)

おっしゃられているのは②の新しい学校の所だと思いますが、ちなみに①が編入になります。②が2校を廃止しまして、新たな小学校で一つに、これが統合になります。準備期間が、②の方が1年多いというのは、基本的には新しく学校ができるものですから、それに伴っての準備が必要になります。例えば、具体的に学校名であるとか、その学校の校歌であるとか、学校のマークであるとか、そういったものを準備しなければならないということで、必要になってきます。

ちなみに、これで方針が固まれば、今度は準備のための協議会の発足になります

ので、そこで詰めていくような形になります。

(会長)

ほかはどうですか。

(委員)

一昨年まで、孫が中学生で西富士中に送り迎えに何度も行ったことがあります。芝山の所から西富士中に入るT字路なのですが、車のすれ違いができないのです。この費用の中に、道路整備に含まれていますか。こういう事業に合わせて周辺の整備も検討の必要なのではないかな。こどもたちの安全配慮を考えても用地の確保も必要なのかなと感じています。

中学校の体育館東側の駐車場はお借りしている土地なのでしょうか。あそこによく父兄が停めたりするのですが、岩がボコボコしているのですよね。学校用地ではないと思うのだけど、今後、西富士中の敷地を使用してとなると、こういう問題も検討してもらうことも必要だと思います。

(教育総務課長)

御意見ありがとうございます。おっしゃられているのは、西富士中の周辺の道路も踏まえた整備だと思いますが、今後において、今回は学校再編のことで進めていくのですが、またこれは通学の関係も出てくると思いますので、また関連する部署に伺いながら、ここではちょっと返答ができませんが御意見として受けさせていただきます。

(委員)

先ほど、教室の数について説明いただいたのですが、確認なのですが、今、既存の教室が9クラス分で、そこに、新たな西富士中学校3学年3クラス。それから、小学校が統合した場合、おそらく各学年1クラスで足りると思いますが、3+6で9クラスあれば足りると思いますが、そこで新たな普通教室の建設がここでは必要という計算になっているのですが、新設の所に括弧で普通教室及び特別教室と書いてあって、その左側の改修の所でも、小学生用の特別教室新設と数があるのですが、これはどうしてでしょうか。

(事務局)

先ほど説明いたしました。補足させていただきます。まず普通教室につきましては、既存の西富士中学校の普通教室を指して、これにつきましては、改修になります。これはですね、中学生とそこに入る小学生が体系などの違いもあるということで、どうしても改修が必要になってくるというふうに見ています。それとは別に、小学校の学習のカリキュラムの中で、どうしても美術室とか音楽室とか理科室とかそういった特別な教室が必要になるということから、この特別室の教室棟については、改築というふうに見ています。普通教室や階段は既存の西富士中学校を改修して、かつ別に特別教室棟を改築するような試算で見えております。

(委員)

②は小学校校舎新設となっています。その下に括弧で、普通教室と特別教室とありますが、これは新設ということによろしいですね。だから今の説明だとこれは新設ではなく、改修と説明されているのですよ。

それと②では特別教室を何教室新設されるのですか。それで③は、特別教室新設となっているのですが、③は中学校校舎改修となっている。特別教室は新たに②で新設するのと、③で新設するのと二つありますよね。これで合計何教室作るのですか。

(教育総務課長)

まず、おっしゃっている②は小学校校舎を新設するという意味なのですが、ただ図書館であるとかクラスの数というのは具体的にはここでは示されてなくて、先ほど説明の中で、今、改築している東小学校をベースにしておりますので、実際に小学校をこの地区に新設したときの教室がいくつ必要かというところまでは、見込んだ積算をしてないものですから、あくまでもイメージということで、金額の方も、おおむね東小学校の改築している費用ベースで概算を出しました。③につきましては、今の既存の西富士中学校の普通教室や階段については改修、それ以外に別の所に、敷地内ですが、小学生用の理科室や音楽室などの特別棟を新設するという内容になっています。

(委員)

だから、②の特別教室は何教室で、③の特別教室は何教室というのは、そこはわからない。

(教育総務課長)

具体的にまだそこまで詰めておりません。方針が決まれば当然そこは、詳細を詰めていかなければなりません、現時点ではまだそこまでは内容を確認していませんのであくまでも概算というか、イメージ的なものです。すいません。

(委員)

イメージでというような概算だということで、だから概算でこれだけの費用が掛かっちゃうということを示されると、こんなに掛かっちゃうというのが率直な感想なのですけども、ちょっとここはもう少し現物での数字を出してもらった方がいいのではないかと思います。今回はイメージということで、東小学校を前提にこのぐらいということを示していただいだということになりました。

それから費用の方ですが、②と③を合わせると約20億。また物価上昇とかを考えるとそれ以上になるということで、このうち国庫補助とか、そういった補助分はどのぐらいを想定されているのでしょうか。

(教育総務課長)

財源の内訳ですが、先ほどの説明同様に、財源のところまでは詰めてないのが現

状です。この予算について、どのような特定財源を活用するか当然方針が決まれば、そういった国等の交付金、国庫補助金等を活用した考え方はしますけれども、現時点ではそういったメニューがあるなしもわからない状況ですので、とりあえず金額だけおおむねこのぐらい掛かかるといえるということでお示ししています。

(委員)

教育委員会の提案だと既存校舎を利用ということだと思いますが、白糸小にするのか、上井出小にするのかというところで、話し合いが平行線になる可能性もあるのかなと思っている所なのですが、第1回目の資料で、学校施設の老朽化という点だけで言うと、建築年は白糸小学校の方が古いのですけれども、長寿命化工事の方は直近令和2年に行っていて、上井出小の方は、平成26年で結構前にやっているのですよね。だから、長寿命化工事は令和2年にやっているのです、考えがもしあればなんですが、そう考えるとこの資料だけ見ていると、白糸小の方が、校舎がもつのではないかと思っている中で、今後どちらにするかというのは地元同士の話し合いのみで進めていくのか、何か事務局側で少しでもお考えがあるのか、どうでしょうか。

(教育総務課長)

ありがとうございます。今回2回目の開催で教育委員会の方で提案させていただいたものですから、これにつきまして白糸地区の委員の皆さんの中で御検討をさせていただきたいというのが今の考えです。これが上井出地区も同様なのですが、これについては、その案を示しているのですが、どちらにするかというのは正直、今日判断できないと思いますので、これは引き続き、皆さんで検討していただきたいというのが当課の考えです。

(委員)

そうなる、おそらく皆さん白糸小になってほしいなというのがあると思うので、白糸小にすべく御意見というか、こういうメリットがあるかもしれないという方がいいよとか、上井出だとこんなデメリットがある。出しにくいかもしれないですけど。

(委員)

ちょっとそれはやっぱり思っていて、白糸になるのか、上井出になるのかというのは非常にどちらか取るのが難しいところだなと。ただ西富士中に近いとかという部分で上井出の方がいいのかなと思ってしまったのですよね。交番とかも今統合されるという話になっているので、それが上出地区になるじゃないですか。そういった面で考えると上井出の方がいいのではないかなみたいな。もちろん白糸がいいのですけど、たぶんそれは平行線だなと思って。

ちょっとこのまま私の意見を言わせていただきたいのですが、私、今子どもが3人いて、下の方が4年生と1年生で白糸小に通っているのですけど、実際、今の親

の立場としてはこの学校が、いつどこになるのかっていうのが非常に気になる点なのですね。どちらかに統合となる話が揉めてしまい、その話がまとまらないのであれば、西富士中になるとというのは、たぶんみんな同じようなことを考えていると思います。今、この提案されている小学校校舎の新設よりも可能性が高いのはやはり中学校の校舎の改修というところなのかなというふうには、自分自身思っています。それが先ほどの教室の数とか、特別教室の新設をしなきゃいけないとなったときに、もっと早くできないのかなと思って、実際、中学校を出たので校舎が改修でこのぐらいの予算が本当にかかるものなのかなとか、もっとよりスピーディーにできるところがないのかなとかという疑問が資料を見て思いました。

(会長)

ほかにはどうでしょう。

(教育総務課長)

はい、ありがとうございます。今、お話の中でスピード感ということで、実際にこの資料の中ではスピード感を踏まえて作成しています。これは参考ということで、小学校の新設と既存の西富士中学校の改修と特別教室等の新設ということで記載させていただいているのですが、スピード感でいきますと、やはり既存のこの教育委員会提案の①②は既存の学校校舎をそのまま使うものですから、スピード感でいきますとやはりこの①もしくは②になります。

この比較というのが、どうしてもスピード感であったり、それに関わるコスト費用面、これを皆様の方にお示ししたかったものですから、教育委員会が提案しているものはスピード感とコストが掛らないっていう部分でお示しさせていただいています。

(委員)

小学校2校の中でどちらの小学校がいいかという比較の話なのですけれども、あの両方の小学校に行ったことがあるので、私の主観での比較をちょっと言わせていただきたいと思います。まず小学校の規模的、延床面積なんかで言うと白糸小学校の方が優れていると思います。学校の敷地の面積的にもそうなのかな、白糸の方が大きいのではないかなと思います。学校の前の道路なんかについても、どちらも親が送迎をすることになるのですけれども、道路のアクセスという意味で言うと上井出小の方が、道が細かったり、アクセスがしにくいという意味で、白糸小の方が、道が広くて送迎がしやすいのではないかと思います。

あとは、上井出小の方が勝っている点は、こどもが学区外から来ている相当数いるという話がありまして、確かアマダ関係のこどもさんが通っていて、そこら辺のこどもが例えば白糸に統合することになると、来ないことになってしまう可能性があるなとは思うのですよ。ですので、学区外のこどもを引き入れるという意味で言うと、上井出小の方が勝っているのかなと思うのです。あと学童がありま

して、学童について私の主観なのですが、上井出小の学童の方が、評判がいいのかなというところもあります。

小学校どちらかに統合という話だったら、白糸に住んでいるという最良目もあるのですが、できれば白糸小学校の方に編入という形で統合してもらえたら、私としてはとても嬉しいのですが、それが無理なら統合するまで白糸がいいなと、それが無理ならまず西富士中改修というのがいいかなという気持ちになっている所です。

(委員)

前回のここでの話と上井出の第1回目の資料を見させていただきますと、小中一貫校の良さをすごく訴えていたのですが、私もそれ見て、やはりそうなのかなと納得した所があるのですが、どちらかの小学校に統合したいという教育委員会の提案ですけど、やはり、皆さんおっしゃる通りどちらがいいという意見は、非常に地元愛が強くて平行線を辿って、決まらないのではないかというのは凄く思います。

あと残り二つになってしまうのですが、小学校を新設するのか中学校の校舎を改修するかなのですが、費用を掛けずにするのであれば中学校の校舎を改修かと思っただけなのですが、この資料を見る限り、特別教室が必要だ、そのために4億から5億掛かるよということではあったのですが、実際、必要なものなのでしょうか。必要なしで行くということは考えられないのでしょうか。また、ここでは示されていないのですが、職員室は、併用できるものなのでしょうか、それともどこか考えているものなのでしょうか。

(教育総務課)

ご質問ありがとうございます。答えになるかわかりませんが、単純にいきますと西富士中は3クラス、白糸小と上井出小等が集まっても、小学校も6クラス各学年単級と考えたときに、西富士中の職員数がどの程度の広さかというのは、私も把握できていないのですが、単純に最低6人、今の西富士中の職員室に六つの机が置かれるということで、どの程度余裕があるのかというのはわかりませんが、小・中の職員が一緒の部屋になるという、そんな状況が予想されると思います。

(委員)

そういった資料はないのですか。職員室を新たにとか。

(教育総務課)

そこまで具体的なものの確認はしていません。ですので、本当に単純なベースになります。もう一つご質問があった特別教室の必要性についてもですね。

(学校教育課長)

先ほど、事務局の方からも御説明させていただきましたが、理科、音楽、図工、美術等の授業に関しては、全ての学年で小・中学校行っていますので、時間割の組

み合わせによっては、同じ時間帯に二つの学年が授業をやることになることも十分考えられるので、それを考えると、こちらが提案した通り、特別教室は二つ必要になってくるのではないなということ想定しております。

(委員)

例えばですけど、3クラスで音楽室、美術室、あと何かわからないですけど、ありますよね。それを、フリーな部屋が3部屋あって、いろいろな部屋に使えるということであれば、音楽、音楽、音楽でも使えるでしょうし、美術、美術、美術で使えると思うのですが、いろんなことに使えると思うのですよね。その部屋を固定概念で考えずに検討するということはあるのかなと、素人考えかもしれませんが、思ってしまうのですが、検討は可能なのでしょうか。

(学校教育課長)

例えば理科室ですと、実験を行いますのでガスが必要になる、水道が必要になる。図工や美術に関しても水を使ったりしますので水道が必要になるということで、既存の白糸小の各学年の普通教室をイメージしていただければわかりますが、あの部屋に新たに水道を設けなければならないとか、ガスを引かなければならないということを見ると、その分のお金は当然コストが嵩むということと、改修するのに時間も必要になってくるということです。

(委員)

検討する機会にできれば私も参加させていただきたかったなと、自分の目でも、見たかったなと思ひまして、また次回検討する機会があったら声をかけていただけたらありがたいかなと思います。

(会長)

ほかにどなたかあります。

(委員)

来年に1年生、また次の年1年生に上がる子がいるので、思い切り当事者なのですが、今日いただいた児童数の推移の資料を見ると、この先5年でまた半分になる見込みなのですよね。前回のお話で、もうちょっと先を見据えて、もしかしたら、もう一回大きな再編があるかもしれないなんていう意見もあった中で、長くて10年とかの間に何億というお金を使うのは問題だと感じてしまう。白糸保育園だけの数値ですけど、0歳から年長さんまで9人で、複式を避けたがるお母さんの声も多くて、お金の面もありますし、スピード感の話も踏まえると、既存の校舎を使って、スピーディーに再編していただけたら、いいのではないかなと私は思います。

(委員)

令和11年度から変わるという形で考えているようなのですが、この人数で言いますと、今の教室がおそらく40人前後の教室で作ってあると思うのですね。これ見ると大体小学生で20人ぐらい、中学生でも大体30人以下になると思うの

ですけれども、結局、今の工事費というのは、今の大きさを計算してあるのか、それとも、もう少し人数に合わせて部屋を小さくして計算してあるのかというところで、また見積を取り直せば、もっと少ない金額でできるのではないかと思うのですけれど、どういう考えでこの見積なのか。新しくする場合は小さくできると思いますが、改修するというのは6クラスを改修するのか、それとも3クラスを半分ずつにすればさらに3クラスできるという形になりますから、その辺はどういうふうに考えているのですか。今まで通りやるとこうなるという形か、そういうことは全く考えてないのかというのを教えてもらいたい。

(教育総務課)

今回の資料はですね、あくまでも参考ということで、教育委員会が今回、皆様に御提案したいのが、この一番左の①と②、これの提案を示しております。なので、あくまでも参考で、おっしゃられているような詳細なものを積算したわけではないので、既存の校舎を使うと建設費等はかかりません。ただ、参考で示しているように、校舎を新設したり、既存の校舎を改修したり、あるいは特別教室棟を新設する場合はこのぐらいのコストが掛かりますよということにすぎませんので、右側についての積算は見積を取っているわけではございませんので、あくまでも概算の概算ということでお示したものです。

(委員)

いろいろと皆さんの意見を聞かせていただいて、私ちょっとどうなのかなと思っているのですけれども、まずこういう予算とか教育委員会の方が出していただいて、教育委員会としては既存を利用するというのが一番だろうとは思っているのですけれども、案として要するに西富士中学校へ行くか改築あるいは新しくするというで、これは皆さんの意見がどうなのかということの方が第一で、お金はどちらが掛かるではなくて、例えばやっぱり中学校で一つにした方がいいよということで決まれば、それで一生懸命我々は運動していくということが大事なんじゃないのかな。

こどものこととお金のことを計算しながら、そっちがあるから既存でというような考え方を現役の方々が思っはいけないのではないかなと私は今思った。それと一点、先ほども上井出の方がいいよ、白糸の方がいいよという話がありましたけど、最終的にこういう案でいくということになった場合に、皆さん心配しているようになかなか決まらないじゃないか、当然のごとく地域エゴも出てきますので、なかなか決まらないこともあるかもしれませんが、やっぱり最後に学校が無くなることは非常に我々にとっても大変なことなのだけれども、ある程度客観的なものに基づいて決めていくべきじゃないかなと思う。特にその結論はやはり現役の人たち、あるいはこれからの方々の意見が尊重されるべきであると思う。なるべくそこにおいては、私の感想なのですが、地域エゴ的なものは差し控えるべきだろうというふうに思っているのですよ。だから、次の会合の時に、この教育委員会が出して

くれた既存を利用することになれば、それはそれに基づいたもっと客観的なデータを出してくるのではないかと期待はしておりますけれど、その上で皆さん、確かに現役でいる方たちは近い方がいいですよ。でも、向こうもそう思うわけですよ。なのでね、その辺を考えながらやっていった方がいいのかなという個人的な感想です。

(委員)

この協議会自体が、再編比較表と出ていますけど、上井出の方もいらっしゃる、人穴の方もいらっしゃる中でこの意見の統合はどこでやるのかなというのがこのスケジュールの中を見ても上井出との付け合せが出てこなくて、教育委員会は既存校舎がいいよね、でもほかに新設を作ったら、例えば中学校を改修したらと案があるけれど、でもこの案のどれにするのか、とにかくそれを最初に決めないと話が進まないように思う。教室がどうなるのとか決まっていなくて話を論じてもしようがない。

これを参考にどこかと決めるのですけども、この議事進行を、今は再編の方法という選択肢を白糸の部会は決めなくちゃいけないでしょ。ところが上井出との付け合せで、それが別の案だったら、今度その修正をどこですというのを見いだしておかないと、ただここで話ただけになってしまうので、その辺は何かその最終的調整というのは、どんなふうを考えていらっしゃいます。

(教育総務課)

おっしゃる通りです。本日は、初めてこの教育委員会で2案の御提案を示しています。一昨日、上井出地区にも同じように示しております。それぞれの協議会の中でこの案について見ていただいて、上井出と白糸と必ず付け合せは必要になってきますので、それは当然事務局としては認識しております。その時期というのは、現時点ではまだ明確にしていますが検討はしております。まずは本日この案を示しましたので、いずれ上井出地区とのすり合わせが必要になるということで、また追って御連絡、御説明はするつもりでございます。

(委員)

再編の比較の中で、今日じゃなくても、どの案がいいのか多数決か何か調整はありますか。これは部会として何か意見書を出すような形になってはいますが、会長が文章で事務局の方に、白糸は例えば教育委員会の既存の提案でいきたいとか、西富士中でいきたいということを文面でそちらに提案するようになっていると思いますけど。

(委員)

私も今聞いていて、今日の議事で再編の方法とスケジュールだけじゃないですか。今ほかの委員がおっしゃったように、選択肢が三つあって、この協議会があって、白糸の方向性を決めていかなければならないじゃないですか。方向性を決めないと、

いつまで経っても前に進んでいかないと思います。

個人的な立場で言いますと、孫が2人、上井出小にお世話になっていて、白糸小に2人お世話になっていて、両方の実情を知っているわけですよ。

教育委員会の提案は統合、お金の掛からない方法と、あと小学校新設、中学校改築とありましたよね。やっぱり白糸地区の方向性を決めないと、それで上井出地区の意見と付け合せをやらないと、いつまで経っても決まらないと思うのですよ。

あと一つ、孫に話すといとこ同士仲が良いから早くしてよと言っていますよ。どうなるかわかんないけどひょっとすると一緒に勉強できるかわかんないよって、あと数年後に、一緒に勉強できるとかもしれないと明るい方向で話をしていますけど、お金のことよりも、こども中心に考えたほうがいいのかと私はそういうふうに感じました。

(教育総務課長)

御意見ありがとうございます。まず資料の方が見づらくて大変申し訳ありません。あくまでも教育委員会が御提案差上げたのは、一番左の①既存の校名または既存の②新しい学校名、この二つの案になります。参考案は、現時点で考えていません。

(会長)

だいぶお話の方も弾んでいろいろ出ていますが、今お話があった通り、この参考の方は、前回のこの協議会の中で西富士中案が皆さんの方からも出ましたし、私も言いました。それがあったので参考という形の中でお示しされたものだというふうに承知しております。

その中で、もう一つは、新規校舎、新設、全く新しいものを2校廃校にして新しいものを作ったというのが参考の真ん中になります。

委員の方からもお話がありましたけど、私も、これから先、上出地区との話し合いを持たないと、進めるスピードがやっぱり落ちていくと考えています。また、後で私の意見というか、提案はしていきたいと思います。

時間も押してきましたので、続いてのスケジュールの方に入っていきたいと思います。それでは事務局の説明をよろしく願いいたします。

教育委員会提案の既存校舎を利用した統合をについてスケジュールの説明を行った。

(事務局)

説明に対して、何か御質問ありますか。

(委員)

先ほどの話になってしまうのですが、このスケジュール表の中に、前回の会議録で、会長、副会長が教育委員会に対して、この協議会の決定を意見書として出すとなっていますが、それをいつまでに出すのですか。逆に言うと、市役所はいつ頃

までに提案を出してくれれば、協議ができるのかな。それによって白糸協議会が次回何月までに決めるという部会のスケジュールが決まらないのではないかと気がするのですが、どうでしょうか。

(会長)

私からいいですか。今のお話、確かにその通りだと思います。ですが、今このスケジュールの提案からしても、最速で既存の学校を使って開校するにあたって令和10年の4月からというのが教育委員会の方の話です。まず第1回目のこの会合のときに、これ数年やるつもりはないですよ。できたら1年もしくは1年半ぐらいで結論を出していきたいというのは、教育委員会の方の話であったはずですよ。

そこに間に合わせるためにはどうするかというのが、今、我々が考えていかなければならないことだと思っています。先ほど私の方から提案をさせていただくという話はしましたけども、上井出地区と白糸地区、これには全くスケジュールには載ってないですし、この両方を全員合同でやるとなると大勢の集まりになってしまうので、私の方からの提案としては、この区の役員さんの方々と、父兄の方々、別々で話をさせていただくというのが、まず擦り合わせとしては早いのではないのかと。それを後日持ち帰って、この協議会の中でこんな話が出ましたと、こういう方向でやったらどうだという話が出ましたと、後ろ向きな話ではなくて、来年度から白糸は複式学級が始まってしまいますので、もうこの1年は申し訳ないですけど、間に合わないタイミングでこの協議会が始まってしまったので、1年は我慢をさせていただいて、令和10年の4月からは、複式学級を解消できるような形、これに持っていかなければいけないと私はそんなふうに思っていますので、これ一つ提案なんですけど、その場をセッティングしていただだけませんか。できましたら、これ次回白糸協議会までに一度、父兄の方々、それと区の方々、統合についての話合いの場をどこかで開いていただきたい。そうした方が、先ほど話がありましたけどお互いの地域エゴも解消しないといけないですから、お互いがそれぞれの役員同士が話をして、いい方向に結びつけるというのが、これが最善なんじゃないかな、まとまるかどうかちょっとやってみないとわからないんですけど、できるだけ子どもさんに複式学級の期間を長く作るというのはよくないので、少しでも早くこの令和10年の4月統合、開校、そういう方向で進めていけた方がいいんじゃないかなと、そんなふうに思っています。

何かほかに御意見がありますか。

(委員)

結局、地域エゴで主張してもしょうがないので、客観的にどちらがどう優れているかというのを客観的な面で比較、対照して検討した方がいいと思うのです。その資料を次回のときに、できたらある程度作っていただけたらわかりやすいかなと思うのですが、その資料の中にハザードマップについても入れて欲しくて、富士

山が噴火したときにより安全なのはどこかとか、西富士中の裏も川の的なものがあったりとか、大沢から流れてくるところとか川もすぐ傍にあったりとかして、子どもたちがいる場所がより安全な所はどちらかというか、二択なのか三択なのかということも含めた上で、いろんな状況の比較検討をする資料が欲しいかなと思います。

(委員)

先ほど、現役世代の意見でということで、今回の資料を見て、自分の意見ですけど、まず白糸小もしくは上井出小どちらかに統合がいいかなと私は思います。

それと、協議会の委員同士でというお話があったんですけど、私達も子どもたちの未来を考える協議会の役員として来ているので、もし上井出に統合となったときに、保護者から反対意見とかがあったりするとそこで責任をとれないなというのは正直あるのと、今日傍聴に来られている方がいますが、その役員同士の話とかも実際に他の方も見るとか傍聴するとか意見とかそういったことがたぶんあると思うので、その辺を考えていただきたいかなと思います。

(委員)

子育ての世代の皆さんにとっては、大事な話だと思います。できるだけ話を聞いていきたいなと思ひまして、本当だったらすぐ手を挙げているところなのですが、ずっと控えていました。今回の今ここのまでの経緯の中で、小中学校一貫ということからちょっと違う話になって、そして、今またそのどちらかの学校みたいな形で話になるのですが、いずれにしても、子育て中の皆さんが、これから子どものことを考えて大きな決断をしていかなきゃならないことがあると思います。これだけは状況がどういうふうになるかわかりませんが、その部分だけはやはり少々覚悟してもらわなきゃならないのかなと。良い方向になるように、そんなふうに願ひながらね、その覚悟だけ持たなきゃなんないのかなというふうに思ひます。

今回の話の中で、学校の統合ということの中で、どちらになるのか、この人口のことを見てみると、今日の資料の3枚目のところで、まだ令和14年ということを書いてありますが、富士宮市ではたぶんその先のこれからの10年後、編入統合ということも考えているのではないのかなとそのようなことも噂で聞いたりもします。おそらく今ここでそういうようなことの中で、編入でも統合でもそういうふうにするというようなことの中で大きな工事をかけてやっていると、なかなか次のこともできなくなってきましたから、またそれだけの税負担が掛かるようなことが今の僕らにできるのかということもあるでしょうし、またそういうふうな中で、今一緒になってもまた少子化の波が止まらないので10年後には今日のようなまた大きな決断をまたしなければいけないかもしれない。もしかしたら、また次の統合に向けての仮の状態になるのではないのかなと思ひたりもします。そんなことを言うては大変失礼なのですが、大きな変化の中で見ると、そういうふうなことも踏まえてですね、物事を見て受け止めなきゃならないのかなというふうに思ひます。

私達にとっては、地元が大きく変わっていくのは、大変残念ですけど、でもやはり今の子育ての皆さん、その中で育っているこどもさん方の将来を考えて一番いいことであれば、私達はそういうふうな中で応援していくことが大事な事かなというふうに思います。そうした中で、スケジュールの中で話し合っていくということですが、会長、副会長は上井出の会長さん、副会長さんとも話をしているのじゃないのかなと、またそういうふうに見える環境もあるでしょうから、その中で皆さんの声を聞きながら、調整を図って来るべき時が来たら、またそういうふうなことを一任しながらですね、教えていただきたいなというふうに思います。

(会長)

ほかはどうでしょうか。

(委員)

私の意見なのですが10年後、何十年後先を考えると、また更なる統合を考えなきゃいけないときが来るのではないと言われていまして、やっぱりこの地域に大きい施設の一つ欲しいと思うのですよね。それは絶対必要じゃないのかなと思うのですよね。20年後30年後、小学生がいなくなるときがあるのかもしれませんが、そこにこの地域の人たちが、防災の施設として使える大きな施設、小学校、または小中一貫校、何かそういった施設があるべきだと思うのですよ。参考に示された学校の改修または新設といったもので、永年使えるような施設が必要なのかなと思います。

先日、上井出の協議会に議参加させていただいたのですがけれども、非常に熱意が強い父兄さんたちばかりでして、もう意見としてはまとまっていたので、ちょっとお話をさせてもらいますと、こどもたちによりよい環境を考えると、前回の資料に載っているのですが、小中一貫校という非常にメリットがあるということを訴えていました。せつかくであれば、西富士中に小中一貫校を作ることを、お金がいくらかかろうが、それは考えていただいて進めてほしい。複式学級を減らさなきゃいけないというのが今の課題ではあると思うけれど、それは別の問題として小中一貫校を作るという、いつまでに作るという時期を明確にして進めていただくのを前提として、上井出なのか白糸なのか、それまでの間一つになるということであれば地域の賛同が得られるのではということを書いていました。私もそれをちょっと思いました。いくらでもお金を掛けてでも、小中一貫校という一つ大きな学校を作って、こどもたちが本当に良い環境を与えてあげたいなという思いです。10年後20年後無駄にはせずに地域の防災機関としても使えるような、そういった新しい施設を考えていただけたら、決してお金かけても無駄にはならないのかなと思っています。

(委員)

スケジュールからちょっと前に戻って、申し訳ないのですが、また最初の質問

とちょっと関連するのだけど、西富士中学校施設を活用した統合は参考で、新設と改修というのは、両方やるってことじゃないのですね。新設をやるのか、改修をやるのかどちらかという選択なのですね。

(教育総務課長)

選択というか参考ですね。

(委員)

あくまでも参考なのだけれども、新設の場合はこれくらい費用が掛かるということですね。両方合わせてということではないのですね。

はい、わかりました。

(会長)

正直言うと、私もあの北部に拠点となる学校を設けるというのは非常に大事なことというふうに考えていました。ただ、今いる子どもたちのことを考えるのであれば、既存の学校を使って、複式学級ができるだけ短い間で終われるように、それが今、取るべき最善の策なのかなと思います。ただ当然これから先、人穴小学校も井之頭小学校もいずれにしろ生徒数が減ってくるのは間違いない事実だと思います。できれば、北山までを見据えた、上野がちょっと特殊な事情があつて、なかなか生徒の数の減少が遅いので、上野はどうなるのかちょっとわかりませんが、そういった中で、一つの大きなものをこの北部の方にこうしておくというのは、大事なことだと思います。ここに学校がなくなってしまうと、これからも子どもを作ろうといった方は北部に住まなくなります。学校が近いところ、どうしても下の方に下りていく。そういうことは現実的に起こりうるだろう。であるなら、やっぱり北部に基幹校という形で、一つしっかりしたものを残していくのは、北山とか、井之頭が統合を考えるような時期が来たときに、お任せするとして、今は、この既存の小学校どちらかを使って、でも白糸小学校が来年度から複式学級ができますが、それを解消するべく動くのがいいのかなと思います。

小中一貫校という話もございますけど、これは保育園も一緒ですよ。白糸保育園だって先ほどの話だと、人数少ないですし、上井出でもそんなに多いかという大して極端には変わらないんじゃないかな。だとすれば、保育園、小学校、中学校、これが同一敷地内であつてもいいんじゃないかなというのは、私はずっと思っていますけど、それはもうちょっと先、もう少し先に延ばさしていただいて、とりあえず、まずは、複式学級になるそれをさせないための方策を考えるべきだろう。今、会長として考えられるのは、そこがまず大前提なのかなと思います。そこから先の北部での基幹校みたいなものは、次の世代に申し訳ないですけど、お任せするしかないのかなと思います。

とりあえず今は、子育て中の皆さんの不安を少しでも取り除く、子どもたちが少しでも競争心が芽生えるような学校にしていかなきゃいけないんだろうなと思っ

ています。

(委員)

今の会長に話を聞いて、子育て世代の方に意見を聞いてみたいな。

(委員)

うちの子は、来年度から複式に入る学年なので、この会自体の複式を無くしてこういう趣旨で作られていると思うので、なるべく年数は短くしていただきたいとは思いますが。編入なのか、新しく統合なのかで1年違ってしまうので、上井出なのか白糸なのかの問題がスムーズに解決してくれたらいいなとは思いますが。

(委員)

本音で言うと白糸小に編入していただくのが一番嬉しいです。

(委員)

先ほど私が話した通りなのですが、小中一貫校というのが頭から離れず、すごくいいものだと思います。こどもたちに良い環境を与えてあげたいという思いが強いので、それありきであれば、上井出の地域の人、白糸地域の人、父兄さんも納得して、どちらかに統合しやすいのではないかと思います。

(委員)

先ほどもお話しさせていただいたのですが、私としてはやっぱりスピード感を持って、既存の学校に編入という形をとっていただきたいと思っていて、白糸小を卒業しているので、本音を言えば白糸小になってほしいと思う。もし上井出小に編入となったとしても、白糸小の校舎をほかの用途として使おうとか残すことはできると思うので、まずはスピード感を重視して、やっていただきたいなと思います。

(委員)

私は子どもが4人いて、5年生、3年生、1年生と保育園に乳児で1人いて、今1年生の教室に4人しかなくて、授業参観に行っても本当に寂しい。1人につき、親1人みたいな感じで。寂しすぎる教室で、とにかく早くスピード感を持って、統合してもらえたらいいなと考えています。もし、上井出に統合するとなったら、送迎するのは私や母になるけど、そうなってもしょがないかなという考えでいます。とにかく、令和14年度を見たら上井出と白糸合わせても60人だから、結局複式になってしまう。

(委員)

現役じゃないんですけど、今のお話を聞いて、スピーディーさと小中一貫校という意見があるので、それを折衷案ではないですが、例えば複式を早く解消するというので、将来的には小中一貫校という形を目指すけど、当面新しい校舎を作るとか改修するとかは、工事期間もあるので先になるけれども、一つそれまでの間は、白糸か上井出にこどもたちに通ってもらえる方法ができるのか、どうでしょうか。

(教育総務課)

はっきりとしたお答えはできませんが検討する余地はあると思います。おっしゃられている段階的ということは考えられると思います。

(委員)

僕も個人的な意見ですと白糸小編入ですけれども、先ほどもほかの方からもあったのですが、お互いに意見を主張することで編入が遅れるのであれば、それは別に上井出でも構わないと思います。先ほど出ましたが、客観的な面でのメリット、デメリットというのを集めた中で、上井出と話し合っていきたいです。それとスピード感を持ってやりたいです。

(会長)

先ほど、私のせいとおっしゃっていた方がしましたが、それはあんまり気にしない方がいいと思います。一応、父兄代表という形でいて、上井出地区の方々と話をして、良い着地点を見つけられるかどうか。これが重要であって、その人が責められるということではないと思うのですよ。そんなこと言ったら、僕ら区長副区長も同じことで、それは父兄の方々が集まる場所や会合があったら、その中でこんな話だったよと、こういう方向で進みそうだという話を皆さんにしていっていただきたい。説明するだけでいいと思うのですよ。

そういう資料が教育委員会からも出していただけると大変ありがたい。参考資料として、みんながそれを見ながら、こんなふうになっているんだという話をすれば、地域の方にもっと浸透して、みんながどんな話をしているのかっていうのがわかるかと思うのですよ。お願いをします。

それと、先ほど言いましたけど上井出地区の役員さんとの打ち合わせができるような場面を、教育委員会の方で決めていただければありがたいと思います。私の方からは以上です。

3 次回の予定

第3回の日程を8月上旬頃とし、後日調整することとした。また、時間帯は午後7時、場所は白糸会館とすることに決定した。

4 閉会

(副会長)

皆様、本日はありがとうございました。

以上を持ちまして、第2回上井出小学校のこどもたちの未来を考える協議会を終了いたします。